

# 令和5年度 茨城県高等学校新人ヨット大会

期 日 2023年 10月29日 (日)

主 催 茨城県高等学校体育連盟／茨城県教育委員会／茨城県セーリング連盟

## 帆走指示書 SAILING INSTRUCTIONS

### 1. 規則

- 1.1 本レガッタには、セーリング競技規則 2021-2024 (以下「規則」という) に定義された規則が適用される。ただし、この帆走指示書により変更したものを除く。
- 1.2 全国高等学校体育連盟「競技者及び指導者規則」を適用する。

### 2. 競技者への通告

競技者への通告は、陸上本部に設置された公式掲示板に掲示する。

### 3. 帆走指示書の変更

帆走指示書 (以下「指示」という) の変更は、それが発効する当日の、レースのスタート予告信号予定時刻の60分前までに掲示される。但し、スキッパーズ・ブリーフィングにおいて帆走指示書の変更が出た場合はこの限りではない。

### 4. 陸上で発する信号

陸上で発する信号は、大会本部前のフラッグ・ポールに掲揚する。

### 5. レース日程

#### 5.1 レース日程

10月29日 (日)	8:30	レジストレーション
	8:45	開会式／スキッパーズ・ブリーフィング
	9:30	第1レース予告信号予定時刻 引き続きレース
	16:00	表彰式・閉会式
	※15:00	以降、予告信号を発しない

- 5.2 レースは4レースを行う。
- 5.3 上記のスケジュールは、レース委員会の裁量により変更されることがある。
- 5.4 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に、音響信号1声とともにオレンジ色のスタートライン旗を掲揚する。

### 6. クラス旗

クラス旗は、レーザーラジアル級はレーザーラジアル旗とし、男女同時スタートとする。420級は420旗とし、男女同時スタートとする。

### 7. レースエリア及びコース

レースエリアは、茨城県土浦市ラクスマリーナ沖合に設置される。添付1のコース図は、レグ間のおおよその角度、通過するマークの順序およびそれぞれのマークの通過する側を含むコースを示す。

## 8. マーク

Mark 1,2,3,4	New Mark
黄色の 円筒型ブイ	赤色の 円筒型ブイ
Start Line Mark	Finishing Line Mark
黄色の棒型ブイ	黄色の棒型ブイ

## 9. スタート

- 9.1 レースは、規則 2.6 を用いてスタートさせる。
- 9.2 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端の黄色の棒形ブイのコース側との間とする。
- 9.3 スタート信号の 4 分より後にスタートする艇は、審問なしに DNS と記録される。これは規則 A.4 および A.5 を変更している。
- 9.4 U 旗が準備信号として掲揚された場合には、スタート信号前の 1 分間に、艇体、乗員または装備の一部でも、スタート・ラインの両端と最初のマークで作られる三角形の中にあってはならない。艇がこの規則に違反して、特定された場合には、その艇は審問なしに失格とされる。ただし、レースが再スタートまたは再レース、またはスタート信号前に延期または中止された場合には、失格とされない。これは規則 2.6 を変更している。

## 10. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、(a)新しいマークを設置するか、(b)フィニッシュ・ラインを動かすか、(c)風下ゲートを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

## 11. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、スターボードの端にあるレースコミッティーボードのオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端の黄色の棒形ブイのフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

## 12. ペナルティー方式

規則 P.2.3 は適用されず、規則 P.2.2 を 2 回目以降のペナルティーに適用されると変更する。

## 13. タイムリミットと目標時間

- 13.1 タイムリミットは、先頭艇フィニッシュ後、10分とする。マーク 1 のタイムリミットを 15 分とし、レース終了の目標時間を 40 分とする。
- 13.2 先頭艇がコースを帆走してフィニッシュした後、10分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに DNF と記録される。この項は規則 3.5, A.4 および A.5 を変更している。

## 14. 抗議と救済の要求

- 14.1 抗議書は、各自で用意するものとする。抗議および救済または審問再開の要求は、適切な抗議締切時間内にレース・オフィスに提出されなければならない。
- 14.2 抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。同じ抗議締切時刻をレース委員会と Jury による、すべての抗議および救済の要求に適用する。この項は規則 6.1.3 と 6.2.2 を変更している。
- 14.4 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 20 分以内に通告を公示する。審問は陸上本部内のプロテスト・ルームにて行われる。

- 14.5 指示 1 2 に基づき規則 4 2 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは、掲示される。
- 14.6 指示 1 6 (安全規定) 1 7 (乗員の交替と装備の修理または交換) 2 0 (ゴミの処分) 2 1 (無線通信) の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は、規則 6 0. 1 (a) を変更している。これらの違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会が決めた場合には、失格より軽減することができる。
- 14.7 審問再開の要求は、要求する当事者が判決を通告された後 2 0 分以内に提出されなければならない。これは、規則 6 6 を変更している。
- 14.8 プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 2 0 分以内に提出されなければならない。これは、規則 6 2. 2 を変更している。

## 15. 得点

- 15.1 シリーズが成立するためには、1 レースを完了することを必要とする。
- 15.2 艇のシリーズの得点は、全レース得点の合計とする。
- 15.3 スタートは同時スタートとするが、得点は、男子、女子、個別に計算される。
- 15.4 ソロ競技には男女とも全艇が参加し、男女別・艇毎に成立したレースの合計得点の少ない艇を上位とする。
- 15.5 コンバインド競技は学校対抗とし、男女それぞれ 420 級、レーザーラジアル級の最終順位 に対する得点を与え、各校の上位 2 艇までの合計得点で決定する。「最終順位に対する得点」とは下表のとおりとする。なお、得点はすべての参加艇に与える。同点の場合は、420 級、レーザーラジアル級のいずれかで最も良い順位を獲得した学校を上位とする。それでも順位が決まらない場合は、同位とする。

表

	420 級	レーザーラジアル級
1 位	参加艇数の値	参加艇数に 0.7 を乗じた値
以下	1 位下がるごとに 1 点を減じた値	1 位下がるごとに 1 点を減じたのち 0.7 を乗じた値

- 15.6 指示 1 4. 6 に基づいて課せられたペナルティーの記録の略語は、D P G (Discretionary Penalty Given) とする。
- 15.7 指示 1 6. 1 に違反した艇は、レース委員会により P T P (Penalty of Three Points) と記録され、確定順位に 3 を加えた得点が審問なしにペナルティーとして与えられる。但し、D N F より悪い得点が与えられることはない。他の艇の得点は変更されない。この項は規則 6 3. 1 および A 5 を変更している。
- 15.8 失格 (D S Q ・ D N E)、規則 3 0. 3 による失格 (B F D) となった艇の得点は、参加艇数に 3 を加えた得点がペナルティーとして与えられる。この項は規則 A 4. 1 を変更している。

## 16. 安全規定

- 16.1 各艇の艇長は、出艇前に陸上本部にある乗員届・出艇帰着申告書に乗員の氏名を記入しなければならない。また帰着後は速やかに帰着申告欄にサインしなければならない。これらの申告違反の場合は最も近いレースにペナルティーを与える。ただし同一レースに重複してペナルティーが与えられることはない。
- 16.2 乗員は離岸から着岸までの間、十分な浮力を持つライフジャケットを着用していなければならない。ただし衣服の着脱に携わる短時間の場合はこれを除く。この項は、規則第 4 章前文および 4 0 を変

更している。

- 16.3 レースからリタイアした艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。
- 16.4 レース艇が救助を求める場合は、救助する船に対して片手を高く上げ左右に振って合図を送る。
- 16.5 レース委員会またはプロテスト委員会は、危険な状態あると判断したレース艇に対して、リタイアを勧告する。また、緊急救助を要すると判断した場合には、競技者の意思に拘わらず強制的に救助できる。救助されたことによる艇からの救済要求は認めない。
- 16.6 レースコミッティーボート、ジュリーボート、レース委員会から要請を受けた支援艇は、危険な状態である艇を強制的に救助できる。救助されたことによる艇からの救済の要求は認めない。

#### **17. 乗員の交替と装備の修理または交換**

- 17.1 レースが引き続き行われる場合で、水上で乗員交代を希望するチームは、各レース前に本部船に申し出ること。この場合帰着申告時に乗員届・出艇帰着申告書に変更された乗員の氏名を記入しなければならない。
- 17.2 損傷または紛失した装備の修理または交換はレース委員会の承諾なしでは許可されない。修理または交換の要請は、最初の妥当な機会に、レース委員会に行わなければならない。

#### **18. 装備と計測のチェック.**

艇または装備は、クラス規則、帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

#### **19. 支援艇**

支援艇の運航を禁止する。ただし、レース委員会の要請がある場合はこれを除く。

#### **20. ゴミの処分**

ごみは、大会運営艇に渡してもよい。

#### **21. 無線通信**

レース艇は水上にいる間は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。

#### **22. 賞**

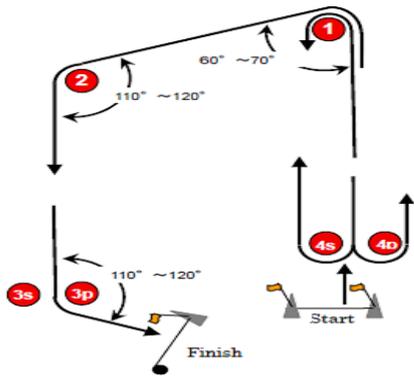
賞を次のとおり与える。男女各艇種ごとのソロ競技・コンバインド競技の上位3チームに賞状を授与する。

#### **23. 責任の否認**

このレガッタの競技者は、自分自身の責任で参加する。規則4（レースをすることの決定）を参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害、または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。またスタートするか、あるいはレースを継続するかどうかを決める責任は各艇にある。

添付1 コース図

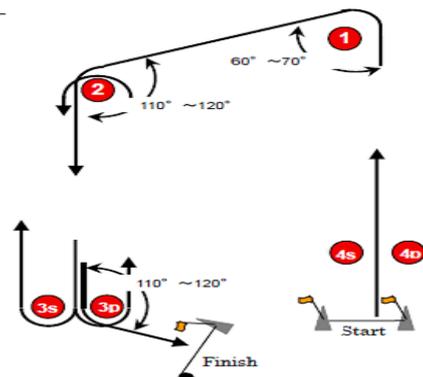
**I**



Course : Inner Trapezoid

	Mark Rounding Order
I2	Start-1-4s/4p-1-2-3p-Finish
I3	Start-1-4s/4p-1-4s/4p-1-2-3p-Finish

**O**



Course : Outer Trapezoid

	Mark Rounding Order
O2	Start-1-2-3s/3p-2-3p-Finish
O3	Start-1-2-3s/3p-2-3s/3p-2-3p-Finish

茨城県セーリング連盟 レース委員会  
茨城県高等学校体育連盟 ヨット専門部